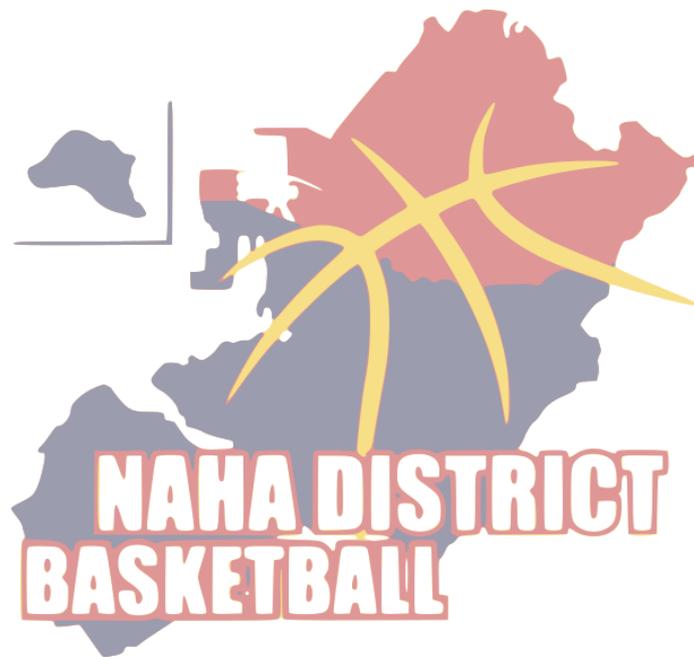


令和7年度 第27回 那覇地区ミニバスケットボール秋季強化大会

監督会議及び抽選会 資料



☆ 式次第

1. 開会の挨拶
2. 各委員会からのお知らせ
3. シード・会場校抽選
4. オープン抽選
5. 閉会の挨拶
6. 会場校に分かれて諸注意

日時：令和7年 9月23日（火・祝）

第2回地区指導者&保護者研修会 終了後

場所：沖縄県体育協会スポーツ会館 1階会議室

～R7 那覇地区秋季強化大会における各委員会よりお知らせ～

※大会公文に記載している内容の補足、追記となります。大会要項を熟読するようにお願いいたします。

事務局

- 本大会も「クリーンバスケット、クリーン・ザ・ゲーム」の下、大会運営に関わる 全ての皆様にインテグリティの遵守をお願いします。
指導者、審判、MC、保護者、観客の皆様にも**今一度、チーム内で周知**をお願いします。



●頭部外傷に関する那覇地区ミニバスケットボール連盟の対応

バスケットボール競技の特性上、選手同士のコンタクトは不可避であり、外力が強く頭部に働いた場合、脳震盪や脳内出血、脳挫傷等を引き起こすことがあります。頭部外傷が起きた場合、直ちに選手を交代させ、同日のゲーム復帰は避けてください。

※ただし、チームにドクター（医師）が帯同しており、脳震盪の恐れがないと判断した場合は引き続き出場可能

また当日の夜は選手を一人にせず、大人が付き添うようにしてください。翌日、ブロック長へ体調報告連絡願います。

総務

- 申込書の提出が遅れるチームが散見され、その後も影響が出ますので遅れることがないようにお願い申し上げます。

※申込書内に、帯同審判、帯同 MC のお名前も忘れずに入力ください

競技

- 3 ポイントルール**を採用します。

- 各チーム TO（テーブルオフィシャル）の練習もよろしくをお願いします。

※<https://78miniren.com/docs/> 競技・審判に関する書式→TO マニュアルハンドブック

- エントリー(申込)内容から変更の場合は、大会当日に変更したメンバー表と申込書を一緒に提出をお願いします。

- 試合間は通常 10 分、TO と試合が連続した場合、20 分となります。第 1 試合の試合前練習は 15 分です。

- シードチームについて、詳細は口頭にて説明いたします。

広報・会場校

- 3ポイントラインを引かれていないまたは3Pラインを補修希望の会場校がありましたら、チーム個々でテープ購入する前にブロック長をまたは会場委員までお知らせください。連盟にてラインテープを配布いたします。
- TOテーブルの端から1m以上離れた位置にベンチラインをラインテープで設置してください(2mが望ましい)。
※TOテーブルに必要な備品の準備をお願いします(黒/青・赤ペン2本、定規、バインダー)。
- 会場校担当後 連盟のタイマー、TOセットについて、中身と所在場所確認の為、速報グループラインに写真を送信して頂く事となりました。詳細は速報グループLINEにてお知らせいたします。
- ブロック優勝、準優勝チームはチーム写真をホームページに掲載予定です。保護者の掲載確認を行ってください。

会計

- 大会公文を熟読し、指定通りの振込人名(チーム名)・金額で振込頂くようお願いします。

審判

- 帯同審判員が急遽大会に参加出来なくなってしまった場合は、ブロック長を通じて報告をお願いします。
→会場の審判責任者へ報告するため、事前連絡をお願いします
- ハーフタイムにて、10名以上出場している事を両審判(クルーチーフ&アンパイア)で確認をお願いします。
- セカンドレフリーについて、大会初日について地区秋季強化大会でも着用可能(2名揃っていない場合も着用可)

コミッショナー

- コミッショナーへの確認は、自チームへの注意(黄旗)・警告(赤旗)の内容のみとする
- コミッショナーへ確認できるタイミングは、ハーフタイムまたは試合終了後とする。
→それ以外の時間での確認は原則認めない。
- ただし、注意(黄旗)の対象となった選手が何番か確認することは、これまで通りベンチからアクションがあった場合のみ、コミッショナーがハンドサインで伝達する。
- マンツーマン規則に関する確認はコミッショナーが対応する。審判員またはTO主任は対応しない。

その他

- ・移籍について
- ・県冬季大会選抜枠について
- ・久米島交流大会について
- ・応援されるチーム作りについて

ハーフタイム時のスコア確認について

ハーフタイム時には、両チーム・TO、審判でスコアシートの確認を行います。

TO及び両チームのスコアシートの下記①②の項目が一致しているか確認します。また、③2Qまでの出場者の確認を行います。

- ①両チームの選手別のファール数
- ②両チームの得点
- ③両チームの2Qまでの出場者

③の確認ポイント

- ・1Q、2Qと連続で出場した選手がいないか確認→連続出場した選手がいた場合、その選手は3Qには出場できません
- ・2Qまでに10人以上の選手が出場しているか確認→9人以下の場合、3Qまでに10人以上の選手が試合に出場しなければなりません。

※8人～9人でのエントリーの場合は、3Qまでにすべての選手が出場しなければなりません。

(詳しくはミニバスケットボール 競技規則4-2-1をご確認ください)

(例1) 玉城選手が2Q連続出場の場合

チームA:				
沖縄ミニ (白)				
No.	ライセンスNo.	選手氏名	No.	出場時間
				① ② ③ ④
1	0 0 1	比嘉	4	△
2	0 0 2	金城	5	△
3	0 0 3	大城	6	△
4	0 0 4	宮城	7	△
5	0 0 5	新垣	8	△
6	0 0 6	玉城	9	△
7	0 0 7	上原	10	△
8	0 0 8	島袋	11	△
9	0 0 9	平良	12	△
10	0 1 0	山城	13	△
11	0 1 1	知念	14	△
12	0 1 2	宮里	15	△
13	0 1 3	仲宗根	16	△
14	0 1 4	下地	17	△
15	0 1 5	照屋	18	△

2Qまでに
15人中9人出場

- ・2Q連続出場者あり
→玉城選手は3Qは出場不可
- ・2Qまでに出場しているのが9名
→3Qには1Q、2Qに出ていない選手を1名以上出場させる

(例2) 2Qに選手が負傷し、知念選手を代わりに出場させた場合

チームA:				
沖縄ミニ (白)				
No.	ライセンスNo.	選手氏名	No.	出場時間
				① ② ③ ④
1	0 0 1	比嘉	4	△
2	0 0 2	金城	5	△
3	0 0 3	大城	6	△
4	0 0 4	宮城	7	△
5	0 0 5	新垣	8	△
6	0 0 6	玉城	9	△
7	0 0 7	上原	10	△
8	0 0 8	島袋	11	△
9	0 0 9	平良	12	△
10	0 1 0	山城	13	△
11	0 1 1	知念	14	△
12	0 1 2	宮里	15	△
13	0 1 3	仲宗根	16	△
14	0 1 4	下地	17	△
15	0 1 5	照屋	18	△

2Qまでに
15人中10人出場

- ・2Q連続出場あり
→知念選手は3Qは出場不可
- ・2Qまでに出場しているのが10名
→2Q連続出場の知念選手以外であればどの選手が出場OK

(例3) 2Qに選手が負傷し、島袋選手を代わりに出場させた場合

チームA:				
沖縄ミニ (白)				
No.	ライセンスNo.	選手氏名	No.	出場時間
				① ② ③ ④
1	0 0 1	比嘉	4	△
2	0 0 2	金城	5	△
3	0 0 3	大城	6	△
4	0 0 4	宮城	7	△
5	0 0 5	新垣	8	△
6	0 0 6	玉城	9	△
7	0 0 7	上原	10	△
8	0 0 8	島袋	11	△
9	0 0 9	平良	12	△
10	0 1 0	山城	13	△
11	0 1 1	知念	14	△
12	0 1 2	宮里	15	△
13	0 1 3	仲宗根	16	△
14	0 1 4	下地	17	△
15	0 1 5	照屋	18	△

2Qまでに
15人中11人出場

- ・2Q連続出場なし
→2Qは誰が出場してもOK
- ・2Qまで出場しているのが11名
→3Qは誰が出場してもOK
(途中交代/途中出場した場合でも試合に出たことになる)

(例4) 選手が9名かつ、途中交代があった場合

チームA:				
沖縄ミニ (白)				
No.	ライセンスNo.	選手氏名	No.	出場時間
				① ② ③ ④
1	0 0 1	比嘉	4	△
2	0 0 2	金城	5	△
3	0 0 3	大城	6	△
4	0 0 4	宮城	7	△
5	0 0 5	新垣	8	△
6	0 0 6	玉城	9	△
7	0 0 7	上原	10	△
8	0 0 8	島袋	11	△
9	0 0 9	平良	12	△
10			13	
11			14	
12			15	
13			16	
14			17	
15			18	

2Qまでに
9人中8人出場

- ・2Q連続出場あり
→大城選手、玉城選手、島袋選手は3Qは出場不可
- ・2Qまで出場しているのが8名
→9名でのエントリーで、8名しか出場していないので、3Qには必ず平良選手を出場させる。

審判ウェア セカンダリーユニフォームについて②

競技規則より原則は以下の通り

審判のユニフォームは、審判用のシャツ、黒色の長ズボン、黒色のソックスおよび黒色のシューズとする。

【補足】国内大会においては、

- ①原則夏季のゲームに限り、JBA 公認の「セカンドユニフォーム上下」の着用を可とする。
 - ②原則都道府県大会ベスト16以上の公式大会については、従来の JBA 公認ユニフォームを着用する。
 - ③「セカンドユニフォーム」着用の場合は上下ともセカンドユニフォームとし、審判カラーで同じユニフォームを着用する。
 - ④「セカンドユニフォーム」着用の際のソックスは黒色とする。
- ただし、上記①～④について大会主催者の考えにより変更することができる。

那覇地区ミニバスケットボール主催大会での適用について

- ①地区春季～地区秋季大会に限り、JBA公認の「セカンドユニフォーム上下」の着用を可とする
 - ②原則地区大会ベスト8以上（二日目以降）の地区大会については、従来のJBA公認ユニフォームを着用する
 - ③セカンドユニフォーム着用の場合は上下ともセカンドユニフォームとし、審判カラーで同じユニフォームが揃っていても、着用可
 - ④「セカンドユニフォーム」着用の際はソックスは黒色とする
- ※熱中症予防の観点から上記内容とします

審判ウェア セカンダリーユニフォームについて①

セカンダリーユニフォームとは

⇒JBAでは、審判活動における夏場の暑さ対策等、活動をしやすい環境を提供すること、そして都道府県における3×3大会時の審判ウェアの採用を目的に、セカンドユニフォームの導入。
2020年8月1日(土)より、各審判ウェアメーカーから審判用セカンドユニフォームが販売開始。



参照：日本バスケットボール協会より

審判ウェア セカンダリーユニフォームについて②

正しい着用事例

帯同審判の皆様は通常レフリースーツとセカンダリーユニフォームを両方準備する事を推奨します。
ウェアの試着やお買い求めは、バスケットショップ「step by step」でも可能となっています。

[バスケットボールプロショップ ステップバイステップ](#)

ウェア		<p>シャツはズボンの中へ入れる事↓</p>
ズボン		
備考	上：通常レフリースーツ ズボン：通常長ズボン	上：セカンド、ズボン：セカンド

スポーツ活動中の 熱中症予防

スポーツによる熱中症事故は、こまめに休憩をとり、正しく対策することで予防できます。その対策は水分補給だけではありません。

身体冷却

暑い日に運動・スポーツをするときは、積極的にからだを冷やすこと（＝身体冷却）が重要です。いろいろな方法を組み合わせて、効果的にからだを冷やそう！

主な身体冷却方法

アイスラリー シャーベット状の飲み物で効果的にからだの内部を冷やすことができます。塩分やエネルギーを補給することもできます。



水分補給

脱水や塩分不足を防ぐとともに、体温調節機能を正常に保つ効果が期待されます。こまめな水分補給が効果的です。

アイスタオル

よく冷やしたタオルを用いて、頭や首元を冷やします。



アイスパック

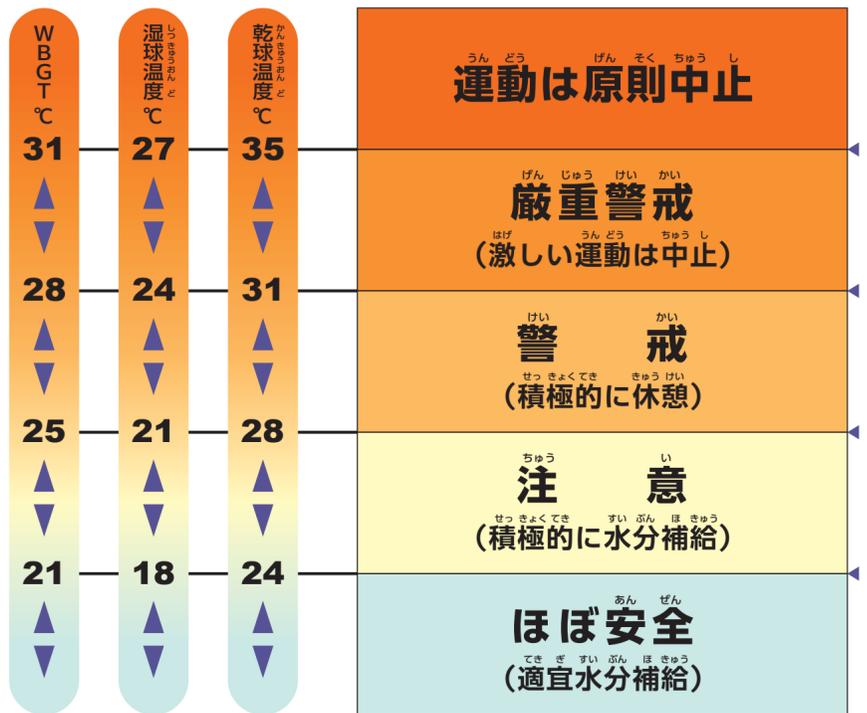
首元、脇の下、太ももの付け根や、太ももを冷やします。

手のひら冷却

バケツに氷水などを入れておき、そこに手のひらや腕を入れることでからだを冷やします。からだの内部の体温が下がる感覚が得られます。

熱中症予防運動指針

これからの時期は、熱中症予防運動指針を目安に運動・スポーツをしよう！体力の低いひと、肥満のひと、暑さに慣れていないひとは特に注意が必要です。



- ◆ 環境条件の評価には WBGT (暑さ指数とも言われる) の使用が望ましいです。
- ◆ 乾球温度 (気温) を用いる場合には、湿度に注意しましょう。湿度が高ければ、1ランク厳しい環境条件の運動指針を適用します。
- ◆ 熱中症の発症のリスクは個人差が大きく、運動強度も大きく関係します。運動指針は平均的な目安であり、スポーツ現場では個人差や競技特性に配慮しましょう。

「防ごう熱中症!! 元気にスポーツ」デジタルブックをご活用ください!



主なタイトル

- ▶ 知っておこう熱中症!
- ▶ 熱中症にならないために
- ▶ 汗をかいたら水分補給
- ▶ トピックス
もう一つの熱中症対策「身体冷却」

QRコードから読むことができますよ!



令和7年度 第27回 那覇地区ミニバスケットボール秋季強化大会

男子参加校												
首里	7	城北	城西	城南	城東	松島	石嶺	真嘉比				
那覇東	7	識名	古蔵	仲井真	真地	大道	上間	真和志				
那覇西	6	泊	那覇	城岳	天妃	銘苅	壺屋					
小祿	6	宇栄原	高良	金城	小祿南	小祿	さつき					
浦添	11	当山	前田	牧港	港川	宮城	内間	仲西	神森	浦城	沢岬	浦添
久米島	0											
合計	37											

女子参加校												
首里	6	城北	城西	城東	松島	石嶺	真嘉比					
那覇東	5	識名	古蔵	上間	仲井真	真地						
那覇西	6	安謝	泊	那覇	城岳	銘苅	天妃					
小祿	6	小祿	宇栄原	高良	金城	小祿南	さつき					
浦添	11	当山	前田	牧港	港川	宮城	内間	仲西	神森	浦城	沢岬	浦添
久米島	0											
合計	34											

■シード校(2025年6月開催の第37回那覇地区ミニバスケットボール夏季大会結果より)

男子→ 優勝：松島小、準優勝：高良小、3位：石嶺小、敢闘賞：壺屋小
ベスト8：宇栄原小、さつき小、小祿南小、古蔵小

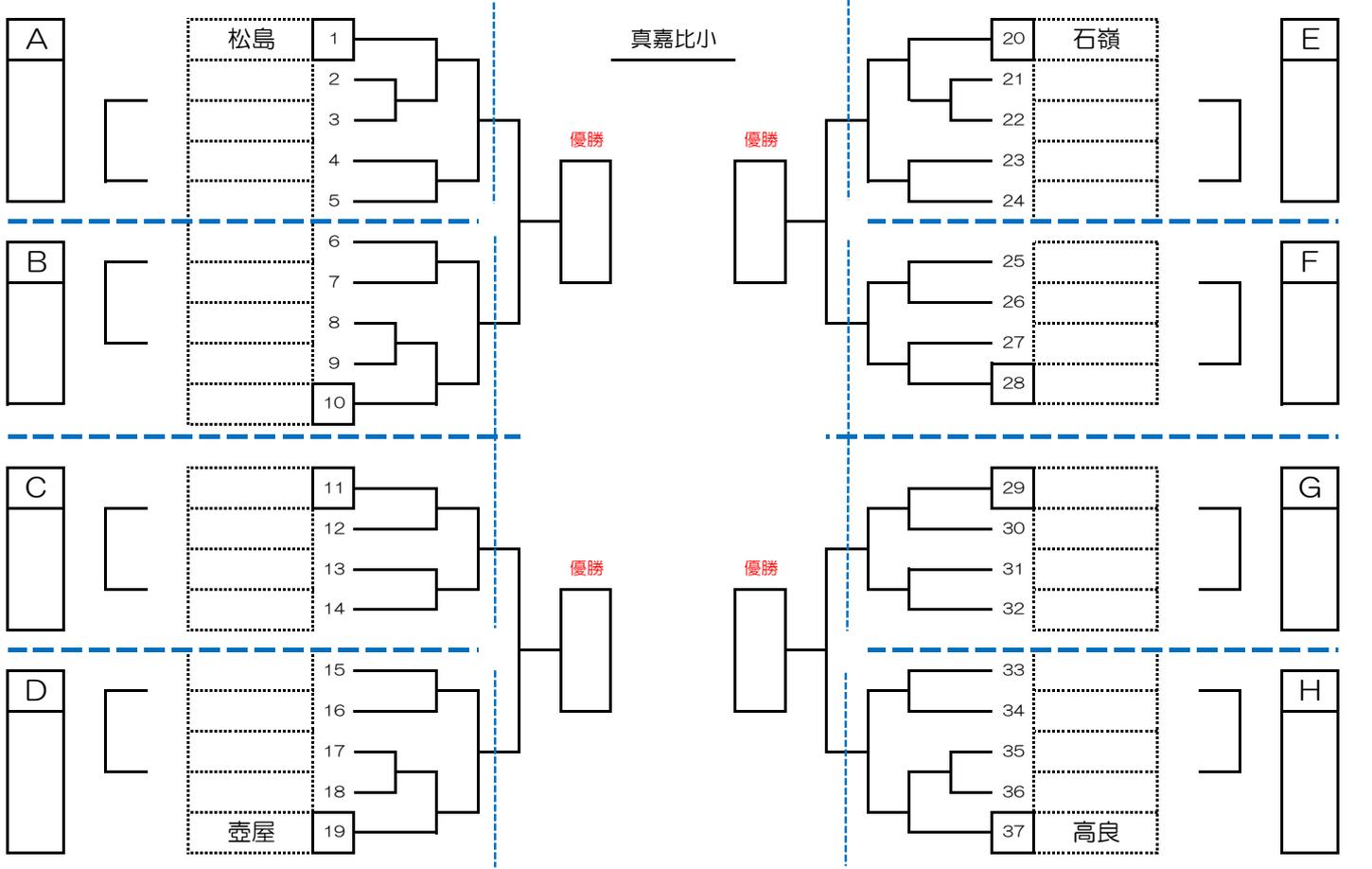
女子→ 優勝：石嶺小、準優勝：城北小、3位：城岳小、敢闘賞：真嘉比小
ベスト8：小祿南小、泊小、仲井真小、識名小

令和7年度 第24回 那覇地区ミニバスケットボール秋季強化大会

日時	試合時間	会場校				
初日： 令和7年10月11(土)12(日)	6-1-6-5-6-1-6 (10) ・第1試合前のアップは、試合前15分間 ・TOと試合が連続する場合は、試合間20分確保	最終日	A・B	真嘉比小学校		
2日目： 令和7年10月13日(月祝)		初日	C・D	港川小学校	K・L	城北小学校
試合前・試合予定時刻	E・F		銘苅小学校	M・N	城西小学校	
各会場校案内をご確認ください。	G・H		城岳小学校	O・P	当山小学校	
	I・J		泊小学校	A・B	真嘉比小学校	

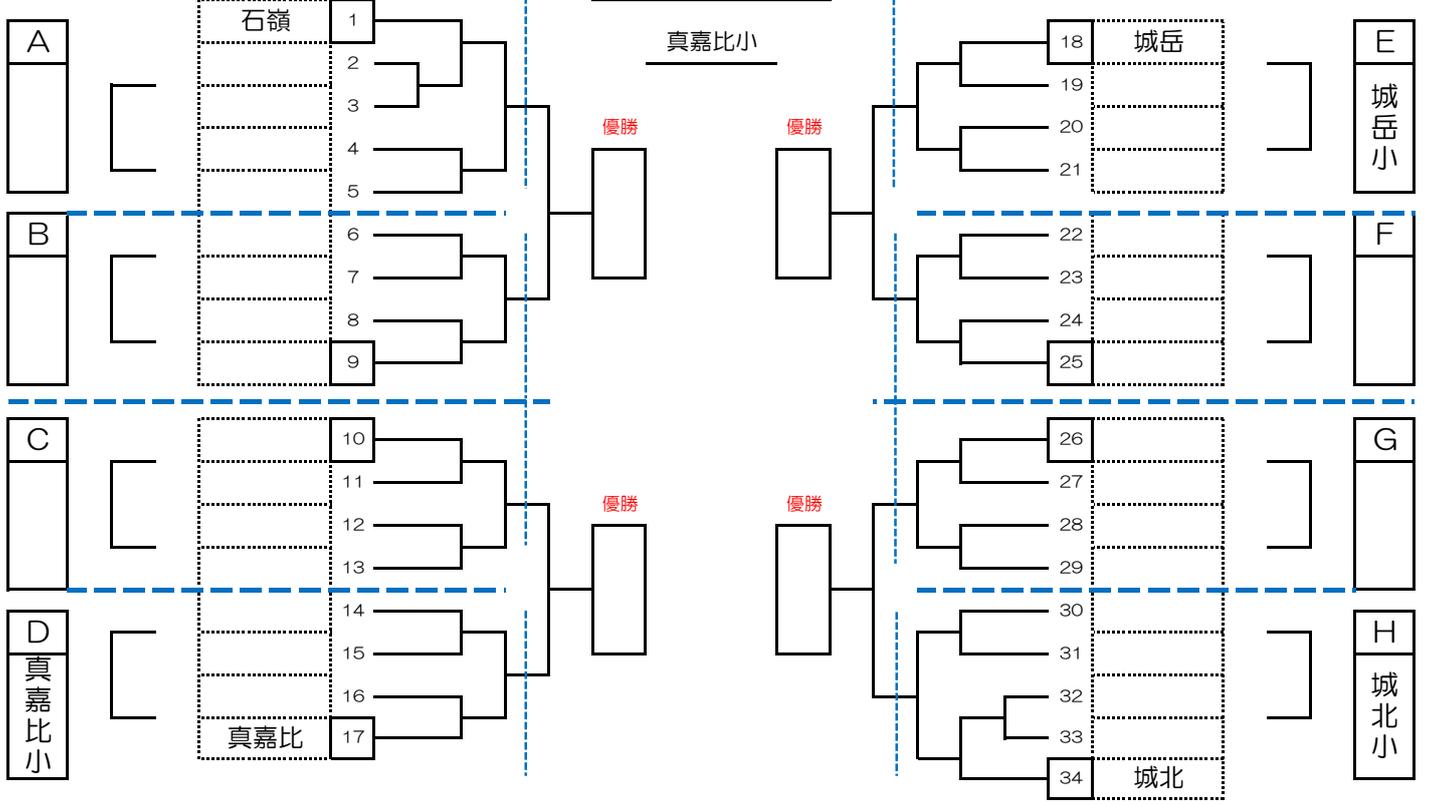
男子

2日目10月13日



女子

2日目10月13日





楽しみながら競技力を向上させる

バスケットボールが

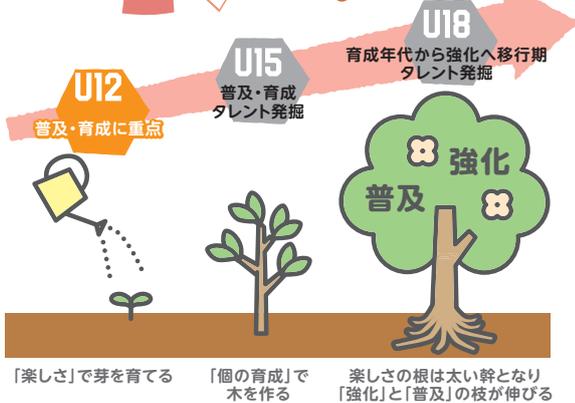
楽しい!

U12カテゴリー
指導ガイドライン



詳しくはこちらへ!!

<http://u12.japanbasketball.jp/U12Guidelines>



育成マインドの伝達

U12世代では、子どもたちが「心からバスケットボールが楽しい」と実感させることが重要です。スポーツは勝つことから「楽しさ」「達成感」などを学び成長も見られますが、「子ども」の意思や思考が含まれない「勝ち方」を指導する勝利至上主義では、子どもたちに本当の意味でのバスケットボールの楽しさを伝えることができません。この年代では、子どもたちの将来を見据えた指導が求められます。そのため、コーチは「個の育成の重視」すなわち「育成マインド」を持ち指導に携わることが不可欠とされます。

育成世代で大切な考え方!

育成世代の目的

- ①子どもたちとそれに関わる全ての人がバスケットボールを通じて元気になる。
- ②子どもたちがバスケットボールを楽しめ、そして成長できる環境をつくる。
- ③バスケットボールを通じて、子どもたちの発育発達に応じた人格形成に寄与する。

バスケットボールを通じて、
ライフスキルを学ぼう

プレーヤー主体で考えてみよう

「楽しさ」を大切にしよう

育成世代の基本方針

(関わる全ての大人たちが行うこと)

- ①安心安全なバスケットボール環境を実現すること。
- ②バスケットボールを子どもたちがのびのびと取り組める環境をつくること。
- ③子どもたちが試行錯誤しながら、様々な楽しみを知ることができるようにサポートすること。

育成世代の目標

- ①大人たちは、健全なバスケットボール環境の在り方について、継続的に話し合う機会を設け、安心安全な暴言暴力のないバスケットボール環境の実現を目指します。
- ②子どもに関わる全ての大人は育成マインドを大切に、行動します。
- ③子どもたちのニーズ(競技志向・レクリエーション志向や発達段階など)に合致し、楽しめるプレー環境(リーグ戦方式、プレータイム確保、3×3の活用)を構築します。

「勝利」の捉え方を考えよう

プレーヤーのための5つの心得

1 **チャレンジ精神**を
忘れずに、いつも
全力を尽くそう

2 **ルールや判定に**
したがおう

3 **試合や関係する**
すべての人に
感謝しよう

4 **よいマナーを**
心がけよう

5 **学習活動も**
一生懸命やろう

調和的情熱(ハーモニアス・パッション)で子どもたちと接しよう

アスリート・センタード・コーチングとは、アスリートを中心に置いたコーチングであり、コーチは情熱を持って子どもと接することが求められます。ただし、コーチ自身の名声などを得るための執着的情熱(オブセッション・パッション)では、プレーヤーの存在を無視した一方的なコーチングにつながります。アスリート・センタード・コーチングに求められる情熱は、プレーヤーとコーチがお互いにしっかりとコミュニケーションを取り、尊重、信頼し合うことです。さらなる向上を目指して、共に努力する調和的情熱(ハーモニアス・パッション)で、子どもたちと接することが重要です。

GOOD! やってほしいこと

- はげます
- 元気づける
- 委ねる
- 引きだす・導く
- 判断させる
- 主体性を育てる



BAD! やってほしくないこと

- 怒る
- 怒鳴りつける
- 指示ばかりする
- 威圧する
- 判断させない
- 支配する



U12カテゴリー「指導行動の指針」

JBA U12カテゴリー部会

U12カテゴリーから「暴言・暴力」を根絶し、子どもたちが「楽しく」プレーできる環境をつくるため、指導者の皆さんには「指導行動の指針」として、つぎのことを意識して、指導に当たっていただきたいと思います。

<やってほしいこと>

- ・ はげます
- ・ 元気づける
- ・ 委ねる
- ・ 引きだす・導く
- ・ 判断させる
- ・ 主体性を育てる



ナイスプレー！
その調子！！



<やってほしくないこと>

- ・ 怒る
- ・ 怒鳴りつける
- ・ 指示ばかりする
- ・ 威圧する
- ・ 判断させない
- ・ 支配する



なにやってるんだ！
言った通りにやれ！



みなさんの指導は
どうですか？